

# 学級活動学習指導案

平成25年10月30日（水）第5校時

## 1 題材「いろいろな国の食文化を知ろう」

学級活動（2）ーケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

## 2 題材について

本校では、「主体的に他者と関わり、学び合おうとする生徒の育成～学校教育全体を通してコミュニケーション能力を高めるには～」をテーマに、食育、英会話科、コミュニケーションづくりを大きな柱とし校内研究を進めている。特に英会話科は小中学校ともに文科省の指定を受け、英会話科の授業だけでなく朝の会、読み聞かせ、合唱などの機会を多く設けている。そのため、生徒の英語に対する興味や関心は高い。

今回の授業も、コミュニケーション能力の向上、英会話力の向上を図りつつ、日本の行事食を紹介し、外国の行事食について外国人支援者とともに学ぶことで、多様な「文化としての食」を知るきっかけにしたい。また、日本と外国との行事食についての違いをインタビューを通して理解する中で、行事食にこめられた思いや日本食の良さに気づかせたい。そのうえで、思いの込められた食事を作ってもらえることに感謝の気持ちを持ち、給食をはじめとする日々の食事を大切に残さず食べようとする気持ちを養いたいと考え本時を設定した。

## 3 食育の視点

- ・諸外国の食文化を知ること、国際理解につながるとともに、日本の風土や食文化の理解を深めることができる。
- ・自分の食生活を見つめ直し、よりよい食習慣を形成しようと努力すること。

## 4 評価規準

A 集団活動や生活への関心・意欲・態度	B 集団や社会の一員としての思考・判断・実践	C 集団生活や生活についての知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的、自律的に日常生活を送ろうとしている。	日常生活における自己の課題を見だし、自己を生かしながらよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

## 5 本題材のねらい

- ・外国や日本の行事食について理解し、日本の食文化の良さに気づくことができる。
- ・日本の伝統的な行事と食事を結びつけて考えようとすることができる。
- ・外国の行事食について興味を持ち、できるだけ英語を使って積極的に外国人支援者にインタビューすることができる。

## 6 事前の活動

活動の場面	生徒の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
短学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のねらいと方法の理解</li> <li>・実態アンケート調査</li> <li>・インタビューの仕方の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートは、「行事食について」と、「食事への意識調査」。</li> <li>・英語で質問ができるよう指導する。</li> </ul>	<b>【関・意・態】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食について興味を持つ。</li> <li>・自分自身の課題（食事への意識）を理解する。 （アンケート）</li> <li>・外国の行事食についているために、意欲的に質問を考える。</li> </ul>

## 7 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	目指す児童の姿と評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハロウィンについて知る。</li> <li>○外国人支援者の国の食文化を知る。</li> <li>○今日のねらいを知る。 「いろいろな国の行事食を知ろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味がわくように、指導者と外国人支援者でハロウィンを紹介する。</li> <li>・ねらいを提示する。</li> </ul>	<b>【関・意・態】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の行事食について興味を持つ。 （観察）</li> </ul>

<p>展開</p>	<p>○外国人支援者の紹介 (校長先生)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人支援者は、アイルランド・イギリス・ドイツ・オーストラリアの出身。</li> <li>・外国には様々な行事食があることを伝える。</li> </ul>	
<p>35分</p>	<p>○グループごとに外国人支援者より外国の行事食についてインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人支援者の国にハロウィンの習慣はあるか。</li> <li>・代表的な行事食は何か。その行事や行事食にはどのような思いが込められているか。</li> </ul> <p>など、事前にインタビューしたい内容は生徒が考えておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループは4つに分けておく。各グループに外国人支援者を一人ずつ配置する。教員も一人ずつ入ってインタビューや作業をフォローする。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人支援者に積極的にインタビューしている。(観察)</li> </ul>
	<p>○グループごとにインタビューしたことを発表する。</p>		<p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの発表を聞き、外国の行事食について理解する。(ワークシート)</li> </ul>
	<p>○日本の行事と行事食について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごと、カードを使って行事と行事食を結び付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の行事食について、行事と行事食の写真をカードにして用意する。 (お正月、冬至、ひなまつり、こどもの日、お月見、節分、七草粥など)</li> </ul>	<p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の行事と行事食について、自己の経験をふまえて答えようとしている。(観察)</li> </ul>
	<p>○グループごと発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な理由を添えて発表する。</li> </ul>		

	○行事と行事食のつながりや、行事食にこめられた思いを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士さんをゲストティーチャーとして招き、行事食について話をしてもらう。</li> <li>・映像などで、行事食の様子をうつしだし紹介しながら説明する。</li> </ul>	<b>【知識・理解】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事と行事食のつながりを理解する。(ワークシート)</li> </ul>
終末 10分	○行事食だけでなく、日々の食事にも作り手の思いが込められていることを知る。  ○作り手の思いが込められた食事を、これからはどんな気持ちでどのように食べたいか個々で考え、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士さんに、給食を作る時の思いをお話してもらう。</li> </ul>	<b>【関・意・態】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事をつくる人の思いを知ろうとする。(観察)</li> </ul> <b>【思考・判断】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の食事の様子を省みて、今後の食のとり方について考える。</li> </ul>

## 8 事後の活動

活動の場面	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
給食	○集団としての実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少食の生徒の食事量にも配慮しながら、学校全体として給食の残量を減らせるよう取り組む。</li> </ul>	<b>【思考・判断】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の食事量に注意しながら、バランスよく残さず食べるにはどうしたらよいか考えることができる。(観察)</li> </ul>
短学活 家庭学習	○活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での取り組みを家庭にも伝えて、自分で食事を作り家族に食べてもらう機会をつくってもらい、食事をつくる人の気持ちがより理解できるようにする。</li> </ul>	<b>【関・意】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事をつくる事で、食事をつくる人の思いを知ろうとする。(レポート)</li> </ul>

